

キャラクター名 影浦霧架 プレイヤー名 _____

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	大学生
オプション		年齢	? (外見は18)	性別	女
覚醒	生誕	衝動	殺戮	初期侵食率	49%
出自	不明	経験	人類の研究	邂逅	忘却：都築京香

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	0	1	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	13		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達	7	
運転:			芸術:			知識: UGN			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
破滅の残響	RC	4r+29		21		コスト6 対象: シーン (選択) 装甲貫通
破滅の残響 ↑100	RC	4r+31		24		コスト6 対象: シーン (選択) 装甲貫通
終末の鐘 ↑120	RC	4r+31		24		コスト6 対象: シーン (選択) 装甲貫通

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UNGヘヴィアーマー		12	-1	-1	

所持品	
ソネ: 手配師	
ソネ: 要人への借し	

合計装甲: 12 合計回避: -1

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス	消費
DOIS: 超血統	P 執着	N 無関心		
桐生雪歩	P 執着	N 無関心		
都築京香	P 感服	N 嫌気		
人類	P 執着	N 隔意		
リベレーターズ	P 執着	N 猜疑心		
コードウェル博士	P 執着	N 脅威		
立樹シルヴァ	P 好意	N 憤懣		

最大財産P: 16 残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマズンネバー	1	(5)	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	衝動判定ダメージ+ (Lv) 個							
トリゾン: レジエント	8	2+1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン中の【精神】を使用する判定の達成値+(Lv×2)							
原初の赤: サイルの魔女	7	5+1	Xジェー	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果:	攻撃力+ (Lv×3) のRC射撃 装甲貫通 コントラクトと組み合わせ不可							
原初の灰: 鮮血の修羅	7	6+2 (5)	Xジェー	-	-	対決	↑120、殺戮	
効果:	1点でもHPダメージを与えた場合、対象はクリナップに(Lv×10)点のHPを失う メインイベント終了時、自身はHPを5点失う							
原初の黄: 不死者の恩寵	1	5 (3)	クリナップ	至近	自身	自動	-	
効果:	自身のHPを (Lv+2) D+【肉体】点回復する							
イージーファイター: デイモンゾゾグ	★	3 (1)	Xジェー	至近		自動	-	
効果:	遠く離れた場所とを繋ぐゲートを作り出す							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

★詳細不明のレコード「ビーイング」
 私は、生まれたその瞬間から自身の存在を理解し、そして人類を理解するために行動してきた。
 私の探求心は人それぞれがもつ、言葉の定義だ。
 例えば「平和」などがそれにあたるのだろう。
 そして、もう一つは自身という存在についてである。
 どうやら私は、研究機関で「死神のレコード「ビーイング」」や「世界喰らう蛇(ヨムカガミ)」と呼ばれているらしい。
 他者による定義づけから見れば、それはおおよそ間違っていないのかもしれない。
 ただ...私は私の存在を正確に認識しなければならない、そう感じて探求を続けるのだろう....

私が力を振るうのは敬意を向けられた場合、そして私の望まない形による可能性の収束に対してだ。
 世界を動かしているのは大いなる意思だ。それが望まぬものならば、私は迷わずそれを喰らうだろう。